

【策定趣旨】

持続可能な地域医療提供体制を確保するため時代の転換点となる令和7年（2025年）の地域に寄り添う病院の将来像を明確にし、「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」（2021年度総務省公表）に基づき、飛騨市民病院経営強化プランを策定します。

【当院が抱える課題】

当院の診療圏の飛騨市神岡町と高山市上宝町及び高山市奥飛騨温泉郷を含めたいわゆる「高原郷」は、飛騨二次医療圏内でも突出して高齢化の加速と人口減少による医療需要の変化が生じています。加えて、常勤医師を始めとする医療職種の確保、更には令和4年度（2022年度）で築32年となる施設の老朽化への対応が必要な状況です。

【計画期間】

令和5年度（2023年度）から令和9年度（2027年度）

【病院概要】

標榜診療科（15診療科）：

内科・外科・小児科・循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科・
糖尿病内科・整形外科・脳神経外科・婦人科・耳鼻咽喉科・
眼科・皮膚科・泌尿器科・心臓血管外科

病床数：一般54床（うち地域包括ケア病床20床含む）、療養27床

【目指す姿】

当該地域に必要な一次、二次救急の体制維持に加え、地域に寄り添う回復期機能、医療依存度の高い長期療養及び在宅医療、更にはプライマリ・ケア、慢性疾患のケアの役割を担っていきます。

「地域に寄り添う地域包括医療・ケアの拠点」

地域包括医療ケアを実践し、医療と介護、福祉、保健、そして生活（コミュニティ）との連携拠点を目指します

「やりがいと働きやすさを兼ね備えた職場環境」

職員が互いに認め尊重し合い、やりがいと働きやすさを兼ね備えた職場環境を目指します

「新たなステージへ向けた健全経営」

時代の転換点となる令和7年（2025年）以降も病院経営を持続するため経常収支均衡を目指します

【経営強化プランにおける取組みの柱】

◆ 重点課題Ⅰ 地域包括医療・ケアの実践

地域包括医療・ケアの拠点として、地域になくてはならない医療を提供し、子どもから高齢者までが自分らしく望む場所で安心して暮らせるための地域づくりを行っていきます

- ✓ 地域になくてはならない医療提供の維持
- ✓ 保健・福祉・介護と連携した予防医療の推進
- ✓ 在宅療養体制の強化
- ✓ ホスピタリティ推進と地域との信頼関係強化

◆ 重点課題Ⅱ 地域に寄り添うプロフェッショナル人材の涵養

やりがいと働きやすさを兼ね備えた職場の中で確かな医療スキルとホスピタリティをもって地域に寄り添って働く人づくりを行っていきます

- ✓ 互いに認め尊重し合う職場風土改革
- ✓ 職場環境と業務効率の改善
- ✓ 研修・人材交流を通じた人材育成の充実
- ✓ 県・派遣元大学/病院・地元学校との関係強化

◆ 重点課題Ⅲ 新たなステージを見据えた収支バランスの最適化

高原郷及びその周辺地域の未来の姿を見据え、職員の経営意識の向上を図りつつ、病院機能にあった投資判断、収支の改善に取り組み、健全な経営体質づくりを行っていきます

- ✓ 持続可能な経営管理体制の推進
- ✓ 病棟等医療機能・内容の継続的見直し
- ✓ 収益に見合った人員配置
- ✓ 材料費・経費のコスト削減

